

東大「感染症診断スキルラボ実習」アンケート集計

参加学生：13人

- ◆麻布大：6人（5年生：6人） ◆日大：4人（4年生：2人、3年生：2人）
- ◆東大：3人（4年生：2人、3年生：1人）

1. 参加の動機、きっかけは何ですか？

- ・将来、公務員獣医師を視野に入れているため、今現在問題となっている感染症の診断・対策の現状を学ぶ良い機会と考えたため。
- ・今、現場で問題となっているBLVに興味があり、参加したいと思いました。
- ・自分の大学ではあまり体験できない内容も含まれていた為。
- ・BLVを卒論タイトルにしている興味を持ったから。
- ・他大学、学生との交流。感染症診断におけるスキルアップ。BLVに対する理解を深めたかった。
- ・研究職や公務員として必要な知識をつけたかった。
- ・感染症の診断手技を習得したかったから。
- ・リーシュマニアなど普段、扱うことのできない疾病が見られ、他大学の研究に興味があったため。
- ・獣医学科に入った理由が感染症の撲滅に携わりたかったため、この実習に参加しました。これから研究室に入室するので技術を得たかったため。
- ・学生担任からの連絡があり、将来感染症対策に関わりたいと思ったため。
- ・感染症に興味があったため。
- ・将来公務員獣医師になりたいと考えているので感染症に対する知識を得るために参加しました。
- ・3年次の実習の良い復習になると思い、参加を決めました。

2. 今回の実習に興味を持ってましたか？

1. 興味を持てた ...13人
2. どちらかといえば興味を持てた ...0人
3. どちらかといえば興味を持てなかった ...0人

3. 実習の目的と意義について貴方は理解できましたか？

1. おおよそ（90～100%）理解できた ...7人
2. 半分以上は理解できた ...6人
3. 半分も理解できなかった ...0人

4. 実習の分量についてはどのように感じましたか？

1. どちらかというとき ...0人
2. ちょうど良い ...12人
3. どちらかといえば少ない ...1人

5. 実習内容の難易度についてはどのように感じましたか？

1. 難しい ...1人

2. どちらかといえば難しい ...2人
3. ちょうど良い ...9人
4. どちらかといえば易しい ...1人
5. 易しい ...0人

(1または2と回答した方：どういったところが難しかったですか？)

- ・自分は臨床系の研究室に所属しているため、感染症の診断手技に明るくない。予備知識・経験を持っている前提で実習が進められた。
- ・まだ3年ということもあり、実験の手技などが難しく、理解しにくいところもありましたが、今後のためになりました。
- ・病理の知識がなかったので、一部理解できない所がありました。

6. 実習の進め方はいかがでしたか？

1. 速い ...0人
2. どちらかといえば速い ...1人
3. ちょうど良い ...11人
4. どちらかといえば遅い ...1人
5. 遅い ...0人

7. 今回、オープンスキルラボとして連携大学での実習を開講したことについて、どのように評価しますか？

1. 大いに評価する ...11人
2. ある程度評価する ...2人
3. どちらかといえば評価しない ...0人
4. 全く評価しない ...0人

(3または4と回答した方へ：評価できない理由は何でしょうか？)

8. その他、オープンスキルラボ実習への要望や意見などを自由に記載してください。

- ・お忙しい中、貴重な機会をありがとうございました。最前線で研究をされている先生方のお話が聞けたり、他大学の学生との意見交換ができ、非常に有意義な時間となりました。学ばせて頂いたことを今後活かしていければと思います。
- ・BLV, AI など現在問題となっている感染症について集中的に学べて大変有意義でした。また、リーシュマニアはあまり学校では習わなかったので学ぶ機会があり、良かったです。このような機会をもっと増やしてほしいと思います。
- ・とても有意義な2日を過ごすことができました。
- ・資料や実習プロトコルを事前に入手できれば予習して実習に臨むことができた。
- ・貴重な経験ができ、大変良かったです。
- ・BLVについての研究をしたいと思います。
- ・学校の実習などでは数回しかできなかった実験などをもう一度できてよかったです。他の学校の方と交流ができとても良い刺激になりました。
- ・打ち上げがあったら良いなと思いました。

- ・ 実習手順がわかりやすかったです。
- ・ 他大学の学生と交流ができ、実習の経験も積み、非常に充実した2日間になりました。

実習風景：



